

彙報

昭和五十六年度仏教文学会大会報告

日時 六月二十日～六月二十一日

会場 東洋大学(東京都文京区白山)

〈第一日〉六月二十日(土)

一、公開講演会(一四時～一六時)

挨拶 (東洋大学短期大学学長)

谷沢 一氏

講演 仏教の日本の変容

(東洋大学教授) 金岡秀友氏

一、懇親会 (一七時半～一九時半)

会場 へかに谷(白山上店)

〈第二日〉六月二十一日(日)

一、研究発表会・午前の部(一〇時～一

二時)

登壇と仏教

(大正大学大学院) 大場 朗氏

真名本『自我物語』の末部をめぐって

(国文学研究資料館) 村上 学氏

景清が事

(大正大学) 沼 義昭氏

——その若干の要素について——
親鸞和讃の表現の特色

(成城大学) 伊藤博之氏

一、役員会 (一二時～一三時)

一、研究発表会・午後の部(一三時～一

五時)

守覚法親王の文芸活動

——御室を中心とする文壇と「守覚

法親王集」——

(福岡女子大学研究生) 下釜逸子氏

中世芸能民の阿母と時衆の関係

(四天王寺国際仏教大学) 梅谷繁樹氏

『増賀上人夢記』

——増賀伝の新資料について——

(元興寺文化財研究所風託)

阿部泰郎氏

『平家』彌懺尼説話考

(大谷大学) 渡辺貞麿氏

一、総会(一五時～一六時)

寮なお、役員会では、①五十五年度決

算、五十六年度予算、②役員会の機能に

ついてが討議された。③については、理

事・評議員等役員の本来的活動を円滑化

するため、当面実行委員的メンバーを定

めて運営し、次年度の正常化に向け努力

する旨が諒承された。総会では、上記①
②の案と、③東西事務局の予算書にお
ける款項目の統一についての案が上程さ
れ、いずれも可決された。

東部部会(昭和五十六年度例会)報告

五月二十三日(土) 於 東洋大学

古代仏教説話と知識 魚尾 孝久氏

遁世者文学の問題 安良岡康作氏

九月二十六日(土) 於 東洋大学

* 説話文学会との合同例会

中世における聖徳太子伝の二、三の間

題 牧野 和夫氏

西行文覚対面談の語り手心源上人をめ

ぐって 山田 昭全氏

十月二十四日(土) 於 東洋大学

明恵における捨身行の変質とその思想

野村 卓英氏

『発心集』における法華経関連の説話

について 岩田 詔静氏

十二月十九日(土) 於 東洋大学

〈ディスカッション〉中世仏教文学の

諸問題(発表者・武石彰夫氏 司会・

山田昭全氏

西部部会(昭和五十六年度例会)報告

五月三十日(土) 於 京都女子大学

靈験と靈場

西口 順子氏

古今集灌頂秘書と仏教教理

新井 栄蔵氏

一枚起請文和歌の諸本

築瀬 一雄氏

九月二十六日(土) 於 仏教大学

『日本靈異記』上巻第五話をめぐって

丸山 顯徳氏

『狂言綺語』と長明の文芸観

久山 善正氏

平家物語と語り

高橋 貞一氏

十月三十一日(土) 於 龍谷大学

直談物の説話

下西 忠氏

法華経持経者の話

広田 哲通氏

——本朝法華験記の一考察——

兵の出家譚

広田 徹氏

——『今昔物語』巻十九のものがたり

から——

十一月二十八日(土) 於 花園大学(東

西合同例会)

なぜ「入水往生」なのか 渡辺 貞麿氏

法師考

山下 正治氏

講演・インドと靈性の文学

小林 圓照氏

(例会後、参加の東部会員諸氏をまじえ

忘年会を行なった)

一月二十三日(土) 於 大谷大学

田山花袋「ある僧の奇蹟」をめぐって

喜多川恒男氏

今昔物語集と法華経

小峯 和明氏

大安寺関係説話の考察 寺川真知夫氏

——靈異記中巻二十四縁を中心に——